

# ほけんだより

新見市立新見第一中学校  
保健室 2016. 9. 9

保護者の皆様へ

## 学校保健委員会が開かれました

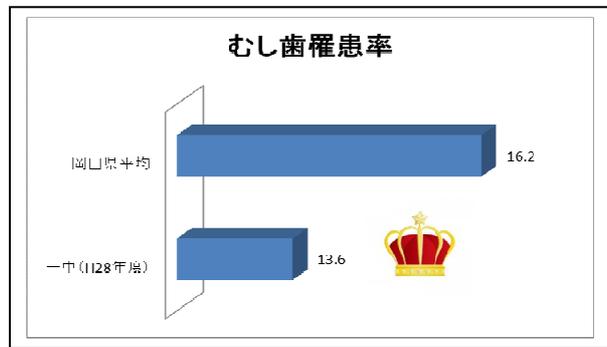
去る7月27日(水)、本校において吉田学校医、森下学校歯科医、PTA役員の皆様と学校からも関係者が参加して平成28年度第1回学校保健委員会を開催しました。約1時間という短い時間でしたが、本年度の学校保健や学校給食に関することなどを、報告したり協議したりしました。

### 1 保健活動について

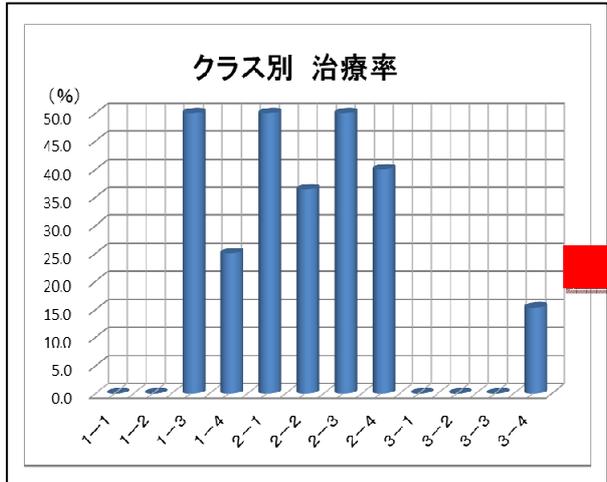
本年度の学校保健活動計画や重点目標について説明しました。その中で、生徒保健委員会の活動についても紹介しました。そのうち、終業式の後に行った全校生徒にむし歯の治療を呼びかける取り組みでは、



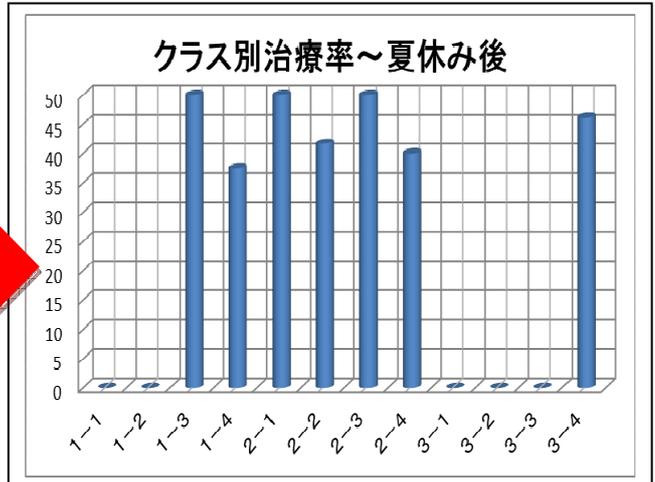
本校のむし歯罹患率と岡山県平均との比較や、クラス別の治療率、部活動別の治療率などを示し、「むし歯は放っておいても自然に治ることは無いので、早めに歯科医院へ行って治療してもらいましょう!」と呼びかけました。



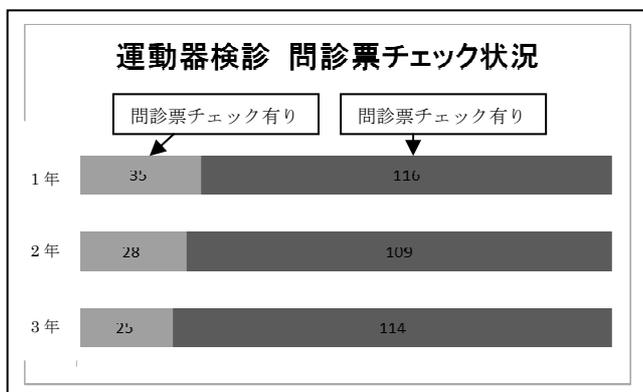
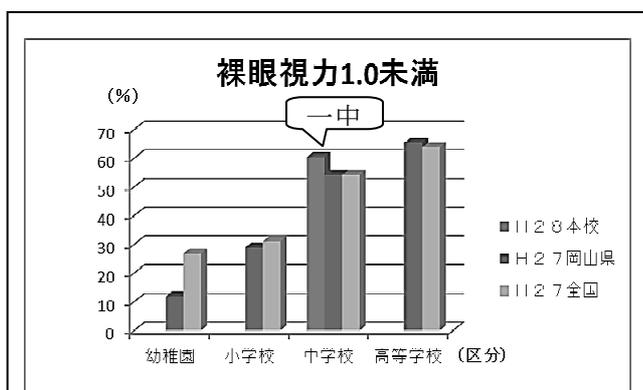
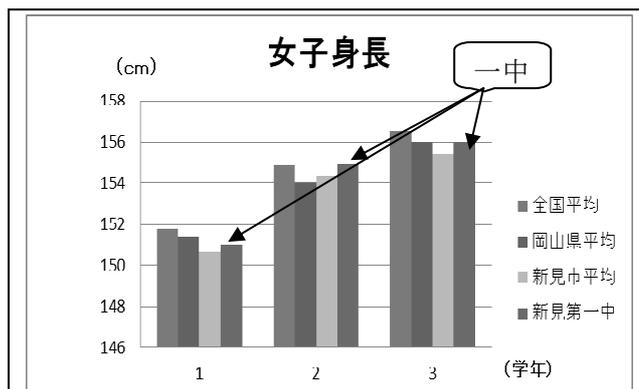
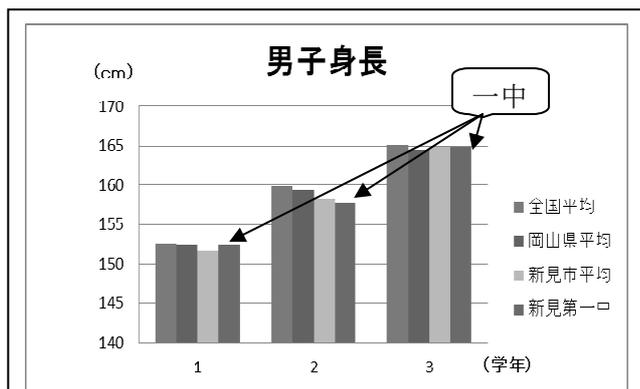
本校のむし歯罹患率は13.6%で、岡山県平均の16.2%を下回っており、つまり本校はむし歯の生徒が少ないということになります。しかし、治療率を見ると、夏休み前では全校で26.3%で、むし歯のある人4人のうち1人しか治療に行っていない状況でした。保健委員会の生徒が呼びかけをした結果、夏休み後の治療率は36.2%になりましたが、まだ治療に行っていない人が多いのが現状です。



クラス別に見ると、3年4組の治療率がぐんと伸びているのが分かります。



## 2 定期健康診断結果から



身体測定の結果では、男子の身長は2年生が全国・県・市と比較して低いことが分かります。女子はどの学年も新見市の平均は上回っていますが、1・3年は全国平均を下回っています。

裸眼視力1.0未満の生徒は、本校では約6割で、全国・県平均を上回っています。つまり、視力が悪い生徒が多いということになります。

また、今年から始まった運動器検診では、生徒の体にゆがみは無いのか、動きはどうかを保護者に確認していただき、問診票にチェックしていただきました。保護者から出された問診票には、どの学年も2割前後の生徒に何らかの気になる点がありました。チェックの内容としては「肩の高さの左右差」、「脇線の曲がり方の左右差」など側わんに関する内容や、「前屈・後屈の際の痛み」、「足や膝関節の痛み」等がありました。その内容を内科検診時に医師に伝え診ていただき、その結果、専門医への受診が必要な生徒にはお知らせしました。

## 3 吉田学校医からの講話「食中毒について」



### 食中毒の予防

- ・食材によく火を通す
- ・手をよく洗う
- ・冷蔵庫を過信しない

食中毒の原因や予防について、詳しく教えていただきました。この会に参加された保護者からは「医師から直接こんなお話をうかがう機会は無いので、来て良かった」と喜んでいただきました。また、「嘔吐や下痢がひどいときには、スポーツドリンクを飲ませると下痢が止まらなくなるので飲ませない方が良い。水分補給には、麦茶に塩を入れる、味噌汁、おかゆに梅干し等がおなかに優しくて良い。」と教えていただきました。その他に、インフルエンザについて、やはり受験を控えた3年生は、予防接種を受けることをお勧めしますとのこと。抗体ができるまで3週間はかかるので、11月中には受けた方が良いでしょう。

他にも多くの意見やアドバイスをいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。